



平成 30 年 6 月 13 日

各 位

神奈川県横浜市港北区綱島東五丁目 8 番 8 号
株 式 会 社 山 王
代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 啓 治
(コード番号：3441)

問 い 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 浜 口 和 雄
電 話 番 号 0 4 5 (5 4 2) 8 2 4 1

平成 30 年 7 月期通期業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成 29 年 9 月 13 日に公表した、平成 30 年 7 月期（平成 29 年 8 月 1 日～平成 30 年 7 月 31 日）における平成 30 年 7 月期通期の連結業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成 30 年 7 月期通期連結業績予想の修正（平成 29 年 8 月 1 日～平成 30 年 7 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,800	90	55	25	5.42
今回修正予想(B)	8,300	90	55	25	5.42
増減額(B-A)	500	0	0	0	
増減率(%)	6.4	0.0	0.0	0.0	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 7 月期)	7,317	8	23	68	1.4

修正の理由

車載・産業機器向け市場での部品需要の拡大が続いており、また主力市場である通信・民生品向け市場についても、高速伝送に対応した新製品需要が生まれている等、総じて好調な事業環境が続くことが想定されていることから、売上高は当初の計画から上方修正いたします。

一方損益面では、将来に向けて積極的に新製品需要を取り込むため、第4四半期以降設備投資や新製品立ち上げコストの発生が見込まれることから、前回発表予想数値を据え置きます。

2. 特別損失の発生について

平成 30 年 7 月期第 3 四半期において、将来キャッシュ・フローの見積期間において回収可能性が認められない日本セグメントの事業用固定資産について、減損損失 42 百万円を特別損失として計上いたしました。

以上